

# たいよう

発行所  
太洋基礎工業㈱  
たいよう新聞委員会

## 最前線レポート

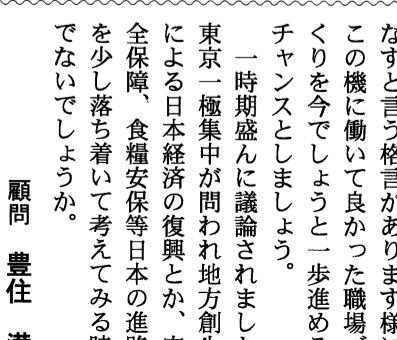
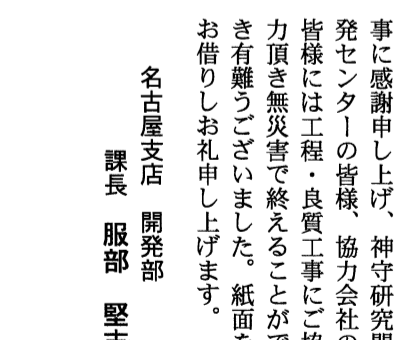
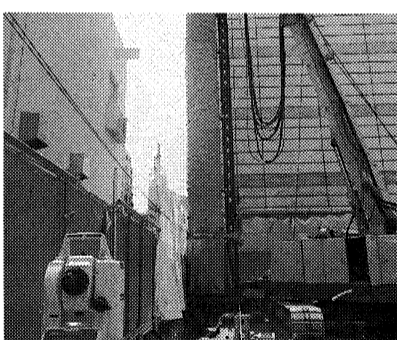
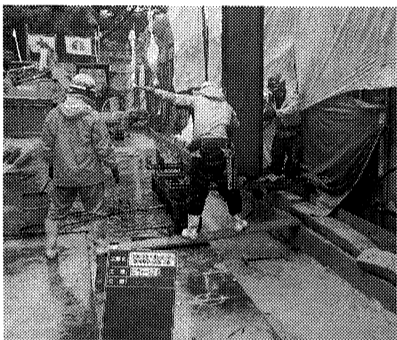
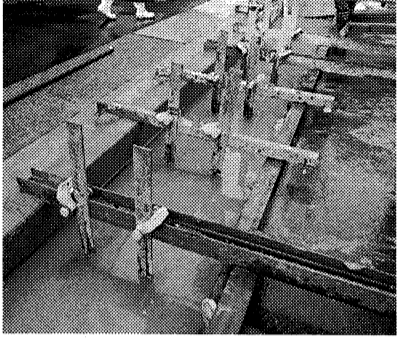
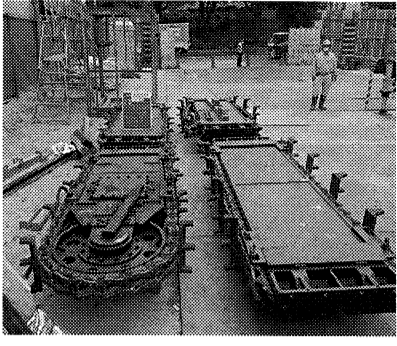
**工事件名** 久屋大通り計画に伴う  
(仮称) 既存解体・山留工事  
**工事場所** 愛知県名古屋市中区栄地内  
**元請業者** 三井住友建設株式会社  
**一次下請** 丸藤シートパイル株式会社  
**工期** 令和二年六月十日  
～ 令和二年七月二十五日

### 工事概要

地中連続壁山留工事  
(ミニウォール工法)  
造成幅 五五〇mm  
壁面積 約一一四・九㎡  
芯材寸法  
H一四五〇×二〇〇  
H一三〇〇×三〇〇  
L一八九・〇mm×一二八本  
施工機械 三五〇型

本工事は新築分譲マンションを建築する工事に於ける地中連続壁土留め工を自社開発工法のミニウォール工法により実施しました。

現場近郊は名古屋市中心市街地である栄地区を南北に貫く道



本現場の施工は使用機械（TK三五〇）やプラント機材・ラフタークレーン及び、汚泥搬出大型トラックの動線を確保しなければなりません。回転機構を有するリーダーにより敷地端部の施工が可能です。

がら境界線の施工となりました。官民境界から連続壁芯までの距離が五五〇mm程度である為、道路占用帯を五〇〇mm確保頂いた事で施工距離確保ができました。

の防止に努めるなど、感染しない、感染させない、を徹底しましょう。

なから狭隘地という施工条件の中、重機を配置し安全に視界を確保できるよう配慮しながら芯材や敷設板移動を行った為既設配管や機材を損傷させることなく施工できました。

また、現在流行中のコロナ対策として衛生環境面では元請様支給の飛沫感染対策と熱中症の発生リスクを抑えることができています。

大切な事は、災い転じて福となすと言う格言があります様にこの機に働いて良かった職場づくりを今度しようと一歩進めるチャンスとしましょう。

名古屋支店 開発部  
課長 服部 堅志

## 声援

令和二年七月豪雨は九州・中部・東北地方をはじめ広範囲で甚大な被害をもたらしました。

被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。昨年の長野県千曲川が決壊した台風十九号はまだ記憶に新しいですが、二年前の平成三十年七月西日本豪雨、三年前は平成二十九年九州北部豪雨など、毎年甚大な被害が発生しております。これは地球温暖化等の環境の変化に起因すると考えられます。国連サミットで二〇三〇年目標達成を掲げている持続可能な開発目標（SDGs）の中に気候変動に具体的な対策を、の項目があります。安心安全な国作りを目指す国土強靱化計画に沿って弊社の技術を用いて社会貢献すべきと決意しております。

新型コロナウイルスの感染が第二波と言われるほど急速に拡大しております。新たに何人感染したとかが連日大きく報道されていますが、検査体制が整っていない

きた事も理由の一つと思います。本社所在地愛知県では独自の緊急事態宣言が発出されました。

① 不要不急の行動自粛・行動の自粛  
② 県をまたぐ不要不急の移動自粛  
③ 感染防止対策の徹底

今後各地で独自の緊急事態宣言が発出されると思っております。皆様の順守の程、宜しくお願いたします。感染経路は、食事中がほとんどと言われています。第二波発生の要因は若い世代の夜の繁華街からと言われるように、若いから大丈夫という安易な発想とお酒を伴う会食が増えた為と思われまます。食事中はマスクを着用できないので、その際に感染者の飛沫を吸い込んだり、手指についたウイルスを食事と一緒に嚥下したりして感染します。食事はなるべく対面で食べない様にしましょう。若い方を含めて新型コロナウイルスによる後遺症の例も出ています。まだ解明されていない点も多く非常に恐ろしいウイルスと言えまます。三つの密を回避し感染拡大

の防止に努めるなど、感染しない、感染させない、を徹底しましょう。

八月より下期がスタートしました。上期は前期受注残と公共工事関連の受注が堅調に推移しておりましたが、コロナ禍による民間設備投資の減少が開始しております。またこの時期第二波の感染拡大は下期完工及び受注への影響を危惧しております。

冒頭にも述べましたが、昨年被災の復旧も終わらないうちに今年も豪雨が発生し、復旧復興を司る建設業の役割は大です。国土強靱化計画は人命の保護と国民の財産に係る被害の最小化を基本目標の一つとしています。

不同沈下した建物の修復は十分な実績がありますので、河川決壊で基礎底部を洗掘された等の被害はジャッキアップ工法で対応が可能です。千曲川の護岸復旧については現在長野支店でも実績を積み上げています。その他河川に関連する技術として、河川浚渫による発生残土を良質

な盛土材へと処理が可能な回転式破碎混合工法、堰堤基礎の地盤改良はSATコラム工法や浅深四軸工法、地中控え護岸など護岸補強はTRD工法等多くの工種で適材適所に対応し本格的復興へ向けて地域社会に貢献したいと考えております。

八月一日入社歴の浅い社員を対象に新人研修会を行いました。例年は学習と支店間コミュニケーションを兼ねて長野県で合宿形式で行いますが、コロナ禍により今年はWeb会議としました。通常業務を兼ねて各自発表資料の作成には大変苦労したと思いますがこれも研修の一環、発表は人前で話すよりWebの方が若干気楽ではなかったかと思えます。若い人たちは会社の未来です。人の成長こそ持続可能な企業の目標です。

成熟企業百年企業に向けて魅力ある会社作りを目指してまいりますので、皆様のご声援宜しくお願いいたします。

代表取締役社長 加藤 行正

保健所からコロナ感染者が神守研究開発センターで終日作業した様なので、濃厚接触者として四名の職員にPCR検査を受けて下さいと要請があり、ついに来るべき時がきたかと緊張致しましたが、幸い四名共陰性で事なきを得、ほっと致しました。

七月、八月と愛知県も連日〇〇人超の感染者が出て、お肉を食べて夏バテ防止チャリティー肉まつり

中国語研究会  
情報交換会機友会  
底曳き網

次々と行事を自粛中止の案内に追われ忙しい思いをしました。対話こそ職域の理解深化、親睦深化を信条としてきました私にとって、この先どうコミュニケーションの中で交流、情報交換をとっていけばよいのか悩ましい思いをしています。

息苦しい世情の中ですが、先にも記しました衛生意識の向上でインフルエンザが前年比六〇%減。このところ多くの人が外出を控えたのが原因か交通事故死者数半減、刑法犯数半減、テレワークでお父さんが家に居る時間が増え子供が喜んで居る。反面もあります。政府や企業にとつて思っ様に進められなかった働き方改革一気に進むのでないでしょうか。

大切な事は、災い転じて福となすと言う格言があります様にこの機に働いて良かった職場づくりを今度しようと一歩進めるチャンスとしましょう。

一時期盛んに議論されました東京一極集中が問われ地方創生による日本経済の復興とか、安全保障、食糧安保等日本の進路を少し落ち着いて考えてみる時でないでしょうか。

顧問 豊住 満

# 事業所だより

今期も早半ばを過ぎ後半戦に入っております。各事業所の皆様におかれましては、日々安全確保、増収増益、新型コロナウイルス対策等忙しい毎日をお過ごしのことと察し申し上げます。

さて、またこの記事の順番が廻ってきたようで、何を書いて良いものやらと頭を悩ませております。などという不平を垂れていると、反省することが山ほどあるだろうと、ご叱責を受けること間違いなしと思われま

す。ここ数年、完工高の低迷が続いておりませんが、内容的には少しずつ良い方向へ変化の兆しが感じられます。住宅関連部門では戸建ての一般住宅が減少しておりますが、アパートやマンションまた、工場や集合店舗等の中層物件が増加傾向にあり、目減り分を補っているように見受けられます。これには、建築会社

様各位の並々ならぬ営業努力に我々地盤関連業者も支えられていると言つて過言ではないでしょう。偏に感謝しております。一方、柱状改良工法にしても長年培ってきた経験と研鑽で、TSC工法、SATコラム工法として技術審査証明や性能証明というお墨付きを頂き、公共的な一般構造物の基礎地盤改良として

も十分適応可能となり、より営業活動の幅が広がった点も、今後の受注活動に良い方向性をもたらして頂いたものと自ら意識を高揚してゆくと所存です。また一般工事への参入の面では、東京支店工務部の丸田部長及び環境開発部の水島部長の指導の下、既存杭の引き抜きや、全周旋回工法による地中障害物の除去工事、深層混合処理式の土壌改良工事等、徐々にではありますが工種の幅を拡げよう

奮闘努力しております。さらに東北営業所の大内所長の指導で、太陽光パネルの基礎杭施工にも参加しつつ、営業範囲の拡充を図れたら良いなと胸を膨らませております。

ともすれば、完工高の減少に引きずられて、営業活動意識も少し弱まってきた頃ですが、営業所では、今村課長を中心に住宅系地盤改良の新工法への取り組みを確立させ、松本拓君、伊藤君、諸君も真剣にこれに取り組みで頑張っております。やはり、若い力は素晴らしいなと感じるこの頃です。また一方、諸君から家庭の都合上、実家の福島市に近い東北営業所への転属願いが出て来期からの配属が認められたこと、小岩課長が、この三月で希望退職されたことによる二名の欠員を補う為

に人員を募集しました。一名は、伊藤君の後輩の村上修平君(二十八歳)で、この八月から勤務し始めました。もう一名は、マイ



ナビからの応募にて、この一日に鍋嶋副支店長とともに面接した小野寺晃司君(二十四歳)です。彼については、これから採用の可否を決定する予定であります。このように、人員の面では、若返りの活性化が図れるよう十分な人材資源を確保できたので、後は皆で励ましあいながら各自の素養を高め、幸いしては事業所並びに会社全体への貢献が出来るよう努力してゆこうと決意を新たにしております。

中央公園では小高い丘の上が雑木林になっており、この春頃から鷹が営巣を始め、初夏には雛が孵りました。それを見守るパードウオッチングの人達が、高価な望遠鏡で日々観察されています。縁起の良い鷹が近くで命を育んでくれる様子は、我々の励みにもなります。皆様も長引く残暑に、そして新型コロナウイルスにも負けないよう頑張りましょう。

埼玉営業所  
所長 坂井 玲次郎

## 夏季社員研修会を Web で開催しました

今年は、コロナウイルスの影響により、リモートでの研修会になり、新卒入社一名、中途入社十二名の十三名が参加し、各支店や自宅で行われました。

初めに、奥山常務取締役より「建設業入門」建設業の基礎知識についての講話がありました。その中で、事故事例が五件程あり印象に残りました。

建設業は、他の産業より労災事故による死亡事故がもっとも多いため、現場では施工管理である我々が率先して安全に作業するように呼びかけ、危険予知をして職人さんが安心して作業をできる環境をつくっていかなくてはならないと思われました。その後新入社員による発表がありました。発表内容はフリーで各々自分が施工した現場や、

前職の実体験をもとに話していただきました。

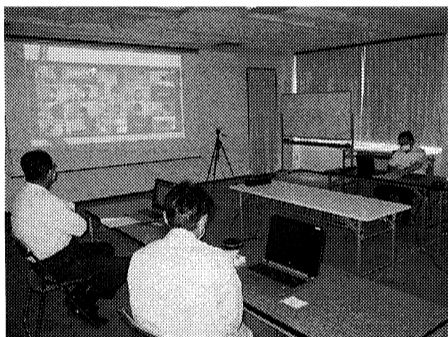
私は、前職でホテルに勤務している時の仕事の流れと、現在開発部でやっている仕事の流れを発表しました。自分が発表する内容について皆さんから何の話しているんだと突っ込まれるのではないかとドキドキしていましたが、発表後に九州支店山田副支店長より、声が小さかったがあまり聞いたことのないホテルの話で面白かったと電話がありました。同じ九州支店の前田さんは「仕事とストレス」のタイトルで、聞いてとても面白く興味をそそる内容でした。ストレスの理由でもっとも

多いのが上司や先輩、同僚との人間関係と発表されていました。が、私個人、九州支店は人柄の

良い方が多く、仕事のことで質問すると私が理解するまで丁寧に教えていただいたり、時には砕けた話で場を和ませてくれる良い環境だと思えます。

加藤社長も新入社員にはユーモアを交えた会話がが多く、とても親しみやすい職場作りを目指されている印象が強く、現状では人間関係で悩むことはないのではないかなと思っております。静岡支店開発部の石川さんは、前職で営業を経験されていたそうで、話の筋道がしっかりとされていて、とても参考になりました。

東京支店工務部の余さんと金さんは難しそうな仕事を担当されていましたが、現場・工法・使用機械などについてよく理解されていました。東京支店東北営業所の板垣さんは、動く図を用いた説明がとても分かりやすかったです。新入社員の方々の顔を初めて見て、発表を聞きましたが皆さんとてもしっかりされていました。



九州支店 佐賀営業所  
藤島 大貴

## 共済会だより

☆新しい仲間

七月二十日  
前長 宏樹  
大阪支店 開発部

八月一日

加藤 勇樹  
大阪支店 開発部

村上 修平

東京支店 埼玉営業所

☆パートから正社員登用に  
なりました

八月一日

井上 亜希子  
九州支店 佐賀営業所

☆結婚おめでとうございます

七月二十八日  
石川 豪  
静岡支店 開発部

☆お疲れ様でした

七月三十一日  
高橋 信司  
長野支店 新潟営業所

## ひとり言

今回の研修会で学んだことを活かしつつ、若手で切磋琢磨してこれから会社を盛り上げていこうと思えます。

初日七月二十四日(金)は長野地方に豪雨予報が出て雨を心配してのスタートになりました。中央道諏訪ICで一般道白樺湖畔を眺めながら上信越道佐久ICから東北道へ入り仙台東北営業所へ。頼もしく成長した田中一生君と再会。コンビニで営業所を支える前川君、大内夫妻、黒澤工業の青木ご夫婦含めて仙台名物牛タンで会食。旧交を温める。幸い雨に走行も支障されず仙台泊り。

翌日コロナ感染者ゼロ県岩手へ。名古屋ナンバー気にかける

がら、どんな対応と取っているのであろうと興味を持ちながら小岩井農場でランチを取り八幡平へ。友人からは、こんな時に何故岩手にと、コロナを気にしているの会話もありましたが、お互い年を重ねたとか言いながらどんだんアルコール消費と痛飲快

飲。岩手を後に新潟へ。十和田湖まわりの景色を楽しみながらの車走を計画していましたが、豪雨の情報もあり殺風景な東北道盤越道で一気に新潟へ。勤続二十九勤めた高橋所長と近況を確かめながらランチ。佐渡ヶ島では島外からコロナを持ち込ませないとの厳重な対応を取っていた中での作業となりましたが、感染者一名。それも島外に出た事

がない人が発生。気持ちの上で人に逢う事が難しくなる。対話の少ない社会になるのではと彼は気をもんでいました。退職後も人間関係は続けていきましようとして別れ北陸道に入り富山へ。構造物修復工法研究会の仲間、堀建設工業社長と「ヒーヒー」

で面談。一年ぶりの再会で話が弾み楽しい時期もありました。彼からはどうにか社業も立ち直りましたと嬉しい報告も聞きビールが一気に美味しくなりました。

最終日、富山から金沢営業所への旅程でしたが、たまたま名口金沢営業所所長、明日は富山に行く予定と聞き、富山で逢う事にしました。お陰で前年施工しました新高岡駅前の工事が続いていたので現調できました。名口君も元気に頑張っている。若い人の頑張りに勇気をいただきました。

名古屋に戻り愛知県コロナ感染者拡大中。岩手県で初の感染者が出る。岩手県知事は、来る時が来た、どうか感染者を特別な目で見ないでとテレビ放映。車走二、〇〇キロ超、コロナは怖いが逢って話し合う事も大切と再学習した激励交遊の六日間が終わりました。

顧問 豊住 満